

想像

型にはまった考え方をやめよう。
今、何をどうやって、どうしていいか
自分の頭で考えて！！
想像力を膨らまそう。

言われたことだけ、その通りにするのではなく
言われたことをその通りやると同時に
言われたこと以上のことをしてみよう。
それは想像力が必要だね。
「ここは赤い色に塗ってください」と言われても
そのとき赤色がただの赤ではなく
深みを増していくだろうと思われたら
深みのある赤にしてみたらどうかしら？
まじめで、几帳面で、言われた通りに実行することも
とっても重要だけど、この世界にはプラス想像力がもっと重要。
大胆で、繊細で、笑いがあって、切なくて、抱きしめたくなる
想像をお待ちしています。

施設長の
ブログ集

書き愛

人。
自分も人であるし、相手も人である。
相手があるから、自分がある。
その書きあいが、わたしは好きだな。
時に嫌なことも、苦しいこともあるけれど
その書き愛がいいと思う。
その書き愛がなければ
感じることができなかった
もっとすごい愛を見たから。
人によってもたらされた
書きあいからはじまつた
愛をもらったから。

その「人」はだれですか？

どこで生まれ、どこで育ち、どんな環境でしたか？
兄弟は何人いて、またはいなくて、
両親はいて、またはいなくて……
恋愛の経験はありますか？
失恋したことありますか？
結婚したことありますか？
子供はいますか、いませんか？
病気したことあったとか、なかったとか……

その「人」はだれですか？

その「人」は「その人」です。
ほかの誰でもありません。
世界にたったひとりの「人」です。
二つと同じ「人」などいない。
だから、尊重しようよ。

大切なたったひとつの「人」だから。
ほかの人じゃダメなんだ。

その「人」じゃなきゃダメなんだ。
それが「その人」の生きる意味じゃないかな。
「その人」の生きている意味。
ほか人じゃかわれない。
その「人」の意味。

じじ様、ばば様たちがここに住まうこと。
たぶん「しかたなく」と無意識のうちに思う人が多いだろう。
できることなら

好きなところで好きな人と好きなように暮らしたいはず。
そのじじ様、ばば様の住まいで共に生活する私たち。
彼らにとって、その私たちの存在は何なんだ。

良い影響もあれば、悪い影響もある。
でも、悪い影響はなくさなくてはいけないでしょう？
私たちは彼らにとってふさわしくない存在では困るよね。
私たちはプロなんだから。
彼らを良くない方向に向かわせているなら、それはプロではない。
それだけ責任感を持って関わってほしい。
あなたの言葉がじじ様、ばば様の心身の状態を左右するんだからね。
あなたの存在が彼らの人生を左右するんだからね。

言葉には言葉がわかることがあります。
それでもないことがあります。あります。

言葉

認知症に関するご質問、
知りたいと思っている方、
お困りの方がいらっしゃいました
ら、いつでも気軽にご相談ください。
どのような些細な事でも、
お力になれたらと思っております。

施設長：大澤 葉

グループホーム花緑

T 059-1271

苦小牧市澄川町4丁目3番5号

TEL (0144) 61-7321

KAEN HP

<http://ameblo.jp/kaen/>

<http://www.geocities.jp/kaenhome/>